

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 9 日

事業名称	高齢者日常生活支援事業費 [高齢者安心見守り・食事サービス事業]						
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 3	老人福祉費	事業番号 4
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市上乗せあり)						
担当部署・課長名	高齢介護 課			高齢福祉 係		課長名	伊野宮 崇
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	2-2
【施策名】 高齢者保健福祉の推進						総合計画書 (ページ)	51
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 買い物や食事が困難な高齢者			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 配食を希望する人数 (新規申請数)			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 安心して在宅生活を送れるようにする。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 配食を受けている人数 (配食利用者数)			
	③ そのために何をしましたか。 市民から利用希望があった場合、担当区域の高齢者 はっと支援センターが自宅訪問し、調査。同センターに による申請代行を受けて、市が利用決定する。決定後、配 食事業者に配食を依頼し、利用者から追加、キャンセル、 休止等の希望があった場合、業者に連絡する。 業者から配達時不在であった利用者について連絡が あった場合は、必要に応じ、利用者や家族、関係者に連 絡を取り、状況確認を行う。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 延べ配食数(年末年始を除く毎日)			
	指標の推移	対象指標	①の数値	人	過去2年間の実績	当該年度	成果目標
平成30年度実績					平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標
成果指標		②の数値	件	67	67	44	
目標		②の目標値	件		67	44	67
経費	目標値設定の考え方 在宅高齢者の日常生活を支援し、介護者の負担軽減を図るため、前年度実績を目標に設定した。						
	活動指標	③の数値	件	8,411	7,364	6,497	
	事業費(実績)	円	1,533,974	1,502,470	1,303,552	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。 その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	766,987	751,235		
人件費	特定財源(国・都・他)	円	766,987	751,235	651,000		
(自安)	(うち受益者負担)	円	0	0	0		
所要人数(再任用以外)	人	0.30	0.30	0.3			
所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0			
職員人件費(再任用以外)	円	2,473,200	2,493,000	2,514,000			
職員人件費(再任用)	円	0	0	0			
事業費+人件費		円	4,007,174	3,995,470	3,817,552		
環境変化等	(1) 開始年度 平成12 年度						
	(2) 環境の変化						
食事サービスについては、在宅高齢者の食事の確保や安否確認を目的に昭和59年度から社会福祉協議会で実施開始。市は平成12年度から人件費と事務費に対し社会福祉協議会に補助金を交付していたが、平成28年度から補助金交付を廃止し、市が実施主体となり、直接、配食事業者に委託して、運営している。 社会福祉協議会では、週2回の配達から始め、週4回、週5回、年末年始を除く毎日と、時代とともにニーズが高まり、配食日数が増加。市でも年末年始を除く毎日、昼食を配達している。近年、豊富なメニューを備えた民間の配食事業者が増加してきている。							

事業名称	高齢者日常生活支援事業費 [高齢者安心見守り・食事サービス事業]				
担当部署・課長名	高齢介護 課	高齢福祉 係	課長名	伊野宮 崇	

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 現在、一般食のみ取り扱っているが、糖尿病食等の特別食も導入して欲しいとの声がある。					
	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。 (複数回答可)					
6 市民協働	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 (広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他 ()				
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない					
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点					
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容 (「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)					
	業者への連絡方法の見直しをした結果、誤発注の件数は減少した。今後、さらに誤発注の件数を減少させることを検討する必要がある。					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。					
	誤発注の件数は減少した。配達時の不在が多い利用者について、あらためて事業の説明を行った。					
8 施策貢献状況	(3)(2)を踏まえた今後の課題 (仕事の最適化・合理化の提案)					
	配達時の不在が多い利用者に、不在時の事前連絡と事業の趣旨について説明する必要がある。					
	この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)					
9 今後の方向性	施策名：高齢者保健福祉の推進					
	<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している	<input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある	事業名()		
	(1)仕事の方向性 (「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)					
	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 廃止	
今後の方向性	【取組内容】 以前と比べ、配食事業者数が増え、豊富なメニューを備えているところが多くなっているため、市が現事業を継続していくことについて検討する必要がある。方向性としては現状維持であるが、状況次第で縮小等の検討も行う。					
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
	現在、市内で事業展開している民間配食事業者の状況についての把握に努める。					